

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 31, No. 8 ACTA UROLOGICA JAPONICA August 1985

泌尿器科紀要

第31巻 第8号 1985年8月

尿路性器悪性腫瘍患者血清中の銅および亜鉛濃度……………	眞田 俊吾・ほか…1299
体外衝撃波による腎・尿管結石破碎術の臨床経験	
第Ⅱ報 術後3ヵ月を経過した60症例の検討……………	加藤 修爾・ほか…1317
滋賀医科大学における腎移植の経験……………	朴 勺・ほか…1321
腎疾患におけるIA-DSAの検討……………	堀 信一・ほか…1329
総合健診受診者にみられた腎腫瘍, 膀胱腫瘍の検討……………	木下 英親・ほか…1339
小児無菌性膀胱尿管逆流現象の臨床的検討……………	朴 勺・ほか…1349
好酸球性膀胱炎の臨床研究	
その2 好酸球性膀胱炎5例の臨床検討……………	山田 哲夫・田口 裕功…1357
進行性膀胱癌の化学療法: 特に深部浸潤癌に対する	
根治的膀胱全摘除術にともなう補助化学療法を中心として……………	上門 康成・ほか…1365
精索捻転症の臨床的検討	
—自験例7例を含む最近報告された本邦177例の文献的考察—……………	中嶋 均・ほか…1371
第34回泌尿器科中部連合総会シンポジウムⅠ	
サンゴ状結石の基礎と臨床 —司会者として—……………	津川 龍三・ほか…1379
サンゴ状結石の成り立ち……………	竹内 秀雄・友吉 唯夫…1381
感染と尿路結石形成……………	平野 章治・ほか…1387
腎サンゴ状結石に対する現行各手術々式とその問題点……………	高羽 津・ほか…1393
腎サンゴ状結石における腎機能からみた治療方針……………	飛田 収一・ほか…1401
単腎症例における珊瑚状結石に対する腎保存手術について……………	小野 佳成・ほか…1407
腎サンゴ状結石の術後再発と予防……………	太田 信隆・ほか…1413
サンゴ状結石に対する体外衝撃波碎石術についての考察……………	森 義則・生駒 文彦…1419
名鉄病院泌尿器科における5年間の手術統計……………	伊藤 浩一・岡村 菊夫…1421
興味ある褐色細胞腫の2例……………	山本 正・ほか…1427
先天性副腎性器症候群の1例……………	角谷 秀典・ほか…1433
腎摘時の脾外傷に対する後腹膜化による修復(英文)……………	小川 由英・ほか…1441
Renal oncocytomaの1症例……………	高士 宗久・ほか…1445
Adenine phosphoribosyltransferase 完全欠損症による	
右尿管結石の1例……………	伊藤 哲二・ほか…1453
愛知県における染色業者にみられた9例の膀胱癌……………	村瀬 達良・ほか…1459
小児前立腺横紋筋肉腫に対するcis-diamminedichloroplatinum, vinblastine, bleomycin 併用療法の経験……………	松宮 清美・ほか…1463
根治的膀胱全摘後のインポテンス症例における	
陰茎 inflatable prosthesis 挿入手術の経験……………	藤岡 知昭・ほか…1471
陰茎折症の6例 —本邦282例の臨床的観察—……………	入澤 千晶・ほか…1477
小児外尿道口に発生した尖圭コンジローマの1例……………	高橋 義人・ほか…1483
睾丸腫瘍の脳転移に対する治療法について……………	山本 憲男・ほか…1489
尿路感染症に対するNorfloxacin(NFLX)の臨床使用経験……………	萬谷 嘉明・ほか…1501

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSA)からなる running title を付す
 - (4) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Keywords、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、所属機関名、著者名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, µg, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7}, 田中ら^{1,9,10}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう、著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷
実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第31巻 第8号 1985年8月25日 印刷 1985年8月31日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤 二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
